

製品の保証・標準使用期間について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記保証期間をご参照の上、購入店または下記記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

1. 保証項目・期間

外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変・褪色	1年
機構部・可動部	回転機構部・可動部の故障	2年
構造体	強度・構造体に関わる破損	3年

※保証項目は、日本国内においてのみ有効とさせていただきます。

※この期間は、通常の状態で使用された場合を想定して定めたものですので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をするとおきの保証期間ではありません。

※保証期間経過後の修理については、有償とさせていただきます。

2. 保証対象外

保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。

・火災、天災による故障または破損。

・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。

3. JOIFA標準使用期間

棚(固定式)標準使用期間:10年

机 標準使用期間:10年

※JOIFA標準使用期間は耐用年数・保証期間ではありません。

お問合せ先

TEL: 096-355-1111(本社)

受付時間 月～金 AM9:00～12:00 PM1:00～5:00

(土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等を除く)

安心と先進で社会文化に貢献する



www.kongo-corp.co.jp

取扱説明書

デスクラックRDR

※組み立て前にこの取扱説明書を必ずお読みください。組み立て後は取扱説明書を大切に保管してください。

機種	RDR	構成部材(1台分の内容物)			
		部材名	数量	部材名	数量
耐荷重	棚板: 40kg デスク天板: 80kg	1 天板	1枚	13 中置安定脚用ボルト一式: ボルト②(M8×55)	4ヶ
	外寸法	高さ 1855 mm	2 中天板		
間口 1075 mm		3 デスク天板	1枚	14 デスク天板取付用ボルト一式: ボルト③(M10×12)	6ヶ
奥行 600 mm		4 支柱	4本		
間口許容寸法	1005 mm	5 棚板	2枚	15 壁固定用ボルト一式: ボルト④(M8×20)	2ヶ
奥行許容寸法	600 mm	6 棚受	4枚		
棚段	2段	7 デスク天板受	2枚	16 ボルト④(M8×16)	2ヶ
表面材	ラック: スチール デスク天板 -表面: 合成樹脂化粧板(メラミン) -裏面: 合成樹脂化粧板(ポリエステル)	8 連ツナギ	1ヶ	17 ボルト④(M8×20)	2ヶ
表面加工	デスク天板 -表面: メラミン樹脂 -裏面: ポリエステル樹脂	9 ロングベース	2ヶ	18 天ツナギ固定金具	2ヶ
		10 中置安定脚	2ヶ	19 壁固定金具	2ヶ
		11 アジャスター	4ヶ	20 床取付金具	2ヶ
		12 本体取付用ボルト一式: ボルト①(M8×25)	24ヶ	21 オールアンカー	6本
				22 ラベルシール	2枚

※最初に必要な部材が揃っているか確認ください。
※転倒防止用部品(15-21)は、オプションです。

安全にお使いいただくために(必ずお守りください)

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

- 収納物を棚から突き出して収納しないでください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- ボルトやネジのゆるみ、支柱の変形などの異常を発見したまま使用しないでください。製品が壊れてけがをすることがあります。
- 棚通路での作業中、もしも地震や火災に遭遇した場合は直ちに棚通路から退出してください。荷崩れによってけがをすることがあります。
- 廃棄するときは、お住まいの自治体の分別に従ってください。
- 分解・修理・移動は専門業者にお任せください。転倒などの事故になることがあります。

⚠注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容

〈組み立て・設置について〉

- 狭い場所での作業は避け、床や他の家具などにキズがつかないように丁寧に扱いください。
- 必ず純正部品を使ってください。純正部品でないと、十分な強度が得られません。
- 必ず平らな場所へ設置してください。床が不安定だと、棚が転倒することがあります。また、デスク天板及び棚板を踏み台代わりにしたり、上に乗ったりしないでください。

〈使用について〉

- 棚板やデスク天板に耐荷重以上のものを収納しないでください。棚板が落下してけがをすることがあります。荷物は一か所に偏らず平均的に載せてください。集中荷重をかけると棚板に無理が生じて破損するおそれがあります。
- 天板の上に物を載せないでください。収納物が落下してけがをすることがあります。
- 天板や棚板、デスク天板に手足をかけたり、登ったりしないでください。デスク天板が破損したり、落下して、棚板がけがをすることがあります。
- 棚板への収納物の積み下ろしは丁寧にこなしてください。棚板が外れてけがをすることがあります。
- 本体の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。

- 棚板と棚受の隙間に手を入れないでください。けがをすることがあります。
- 棚板の位置を変更する場合は、軍手などの保護具を使用してください。けがをすることがあります。
- 棚板などの塗装面には、傷をつけないよう注意してください。錆発生の原因となります。
- 部品の位置(上下左右)を確認の上、正しくお使いください。部品を逆向きに使用するとけがをすることがあります。
- 危険物(壊れ物、薬品、生物など)を収納しないでください。人や衣服などを傷つけることがあります。
- 清掃をおこなう場合は、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。塗装が変色したり剥けたりします。
- 分解や改造をしないでください。破損やけがをすることがあります。
- 乱暴な取り扱いや用途以外の使用は避けてください。けがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 製品に不具合や不明な点がありましたら、早めに弊社へご連絡してください。

作業推奨人数



2名

必要な工具



六角レンチ (13mm) (付属品)
スパナ (M8用) (付属品)

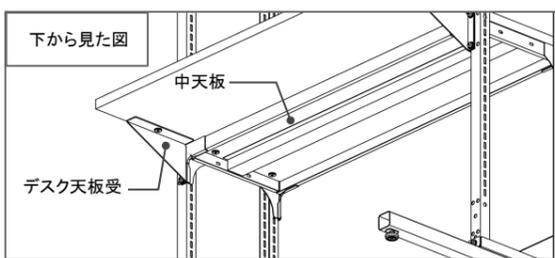
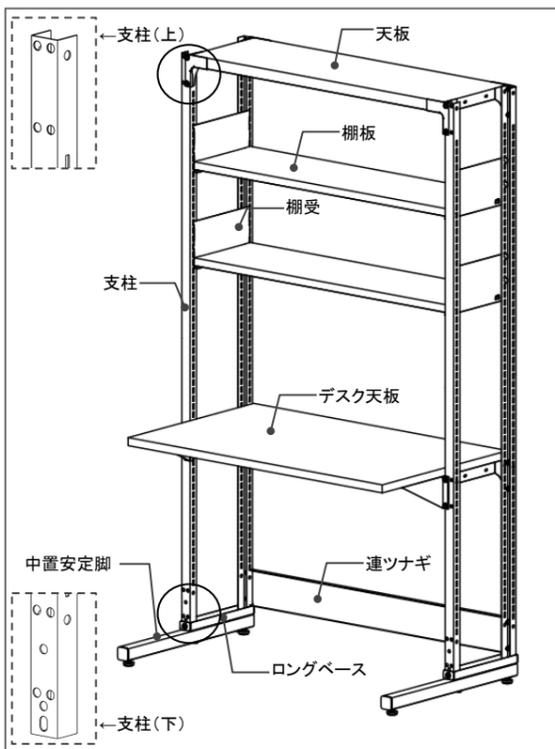
作業時間



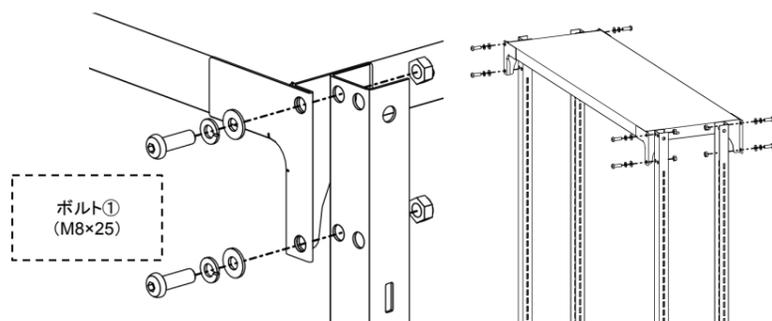
約30分

組立説明

完成イメージ

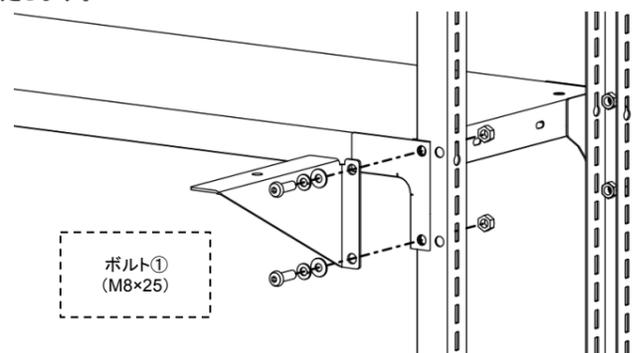


1 4本の支柱に天板をボルト①、スプリングワッシャー(SW)、平ワッシャー、ナットにて組み付けます。
※天板と中天板の組み付け間違いにご注意ください。
中天板にはデスク天板取付用の穴が設けられています。

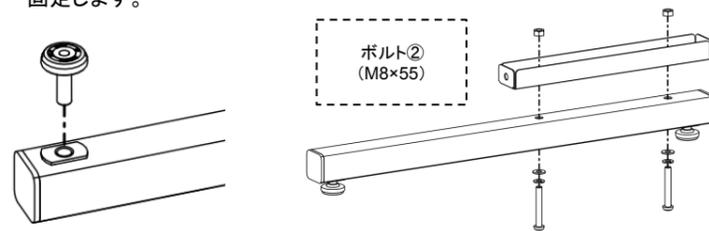


POINT 支柱・天板は、ボルト・ナットで仮止め(軽く締め付け)しておきます。

2 中天板とデスク天板受を支柱穴に組付けます。支柱にボルト①、SW、平ワッシャー、ナットにて中天板とデスク天板受を共締めし、固定します。

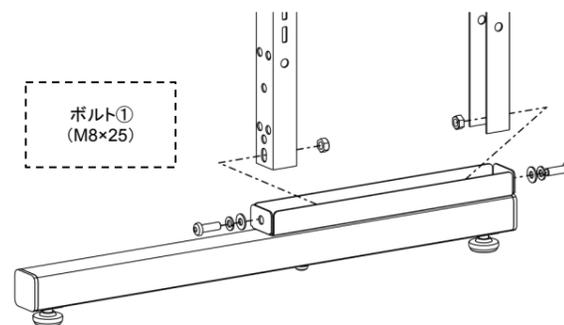


3 中置安定脚にアジャスターを取り付けます。
中置安定脚とロングベースをボルト②、SW、平ワッシャー、ナットにて固定します。



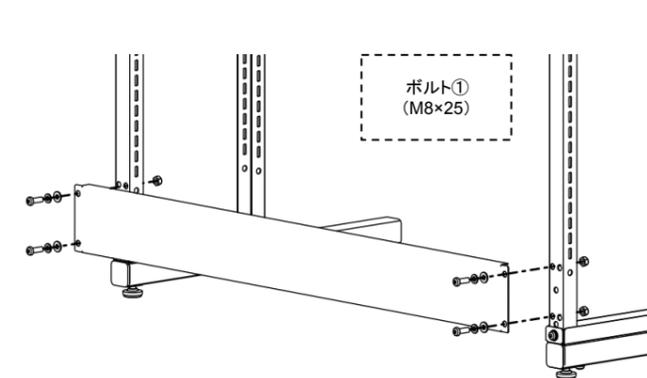
POINT ロングベースは、へこみがある方を上にしてください。

4 支柱にロングベースをはめ込み、ボルト①、SW、平ワッシャー、ナットにて固定します。

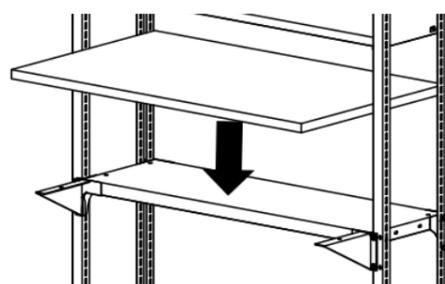


POINT アジャスターを調整し、水平を出してください。

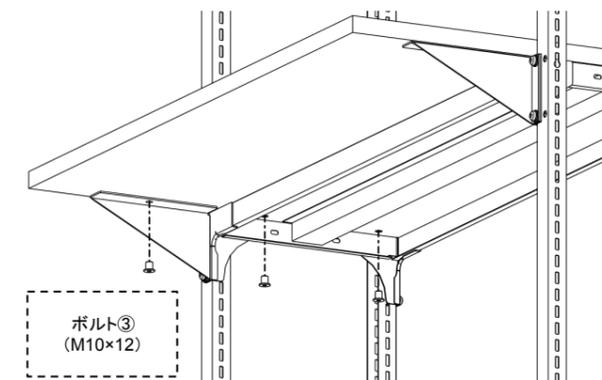
5 支柱孔の最下部に、連ツナギを取り付けます。ボルト①、SW、平ワッシャー、ナットにて固定します。



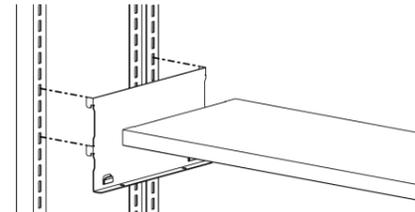
6 中天板・デスク天板受の上に、デスク天板をセットします。
デスク天板受の裏側からデスク天板へ向けてボルト③で固定します。



POINT 棚の水平を確認後に本締め(十分に締め付け)します。

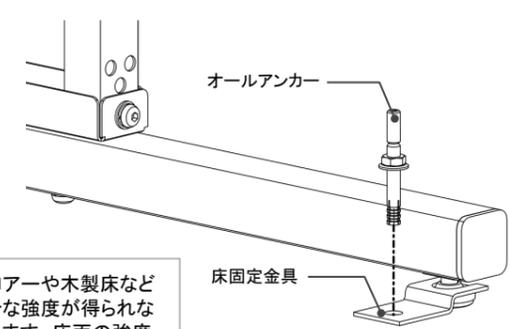


7 支柱孔に棚受を取り付け、その上に棚板を乗せてください。完成です。



POINT 左右の棚受の高さがずれると、棚板変形・落下の危険性があります。支柱孔を数えながら棚受を設置すると、スムーズに取り付けできます。

床固定 (オプション) アジャスターを床固定金具で押さえ、オールアンカー(M8×50mm)で固定します。



注意: OAフロアや木製床などの場合、十分な強度が得られない場合があります。床面の強度をご確認ください。

棚板セット(オプション)

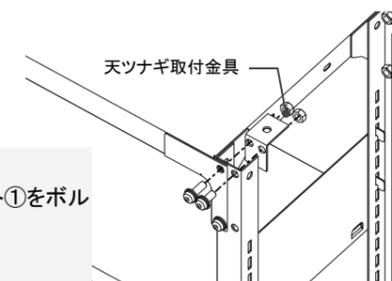
構成部材
(1セットあたりの内容物)

①	棚板	1枚
②	棚受	2枚

※棚は立てた状態でも、横に寝かせた状態でも組み立て可能です。
組立場所の広さに応じ、ご判断ください。
(本説明書では棚を立てた状態で図解しております。)

壁固定 (オプション) **1** 天ツナギ取付金具をボルト④・SW・平ワッシャー(小)・ナットで天板に固定します。

ボルト④
(天板内側:M8×20)
(天板外側:M8×16)



POINT 天板内側のボルト④をボルト④に付替えてください。

床固定・壁固定は専門業者にお任せください。

2 壁固定金具を、固定した天ツナギ取付金具ボルト④・SW・平ワッシャー(大)で取り付け、アンカーボルトで壁に固定します。



注意: プラスターボードやベニヤ板などの壁の場合は、十分な強度が得られない場合があります。壁面の強度をご確認ください。